

プロジェクト名	大学と附属中学校との協働による 「実践的国語学力を育成するショート单元」の開発		
プロジェクト期間	平成 21 年～22 年度		
申請代表者 (所属講座等)	山元 悦子 (国語教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	前田真澄 (国語教育講座) 河野智文 (国語教育講座) 三附属中学校国語科教諭
取組方法および 取組実績の概要	<p>平成 22 年度研究計画にのっとり、以下のように取り組んだ。</p> <p>1) 実践的能力という視点から国語学力モデルを設定する。</p> <p>2) ショート学習の理念と実施上の留意点を確認し、各附属で分担した領域に関して構想を出し合い、協議する。</p> <p>3) 附属久留米中学、附属福岡中学、附属小倉中学で 1 年間をかけて実施する。</p> <p>実施することのできた実践は 17 種である。</p>		
研究成果の概要	<p>概要： 実践を通して明らかになったショート单元の魅力や実施上の留意点を、座談会を通して整理し、その内容および実践の概要を研究冊子『ショート学習で実践的国語学力を育てる』にまとめ、刊行した。(3 月) 実施した実践は以下の通りである。</p> <p>実践 1 大きな視点から俯瞰しよう 1 年                  実践 2 物事を観点立てて比較する 2 年                  実践 3 語句の意味をイメージする 1 年                  実践 4 聞き取りゲームをしよう 1 年                  実践 5 話し合いを科学する 3 年                  実践 6 司会の役割を学ぼう 3 年                  実践 7 聞き手を引きつける話し出しの工夫について考えよう 1 年                  実践 8 筋道立てた話し方の工夫をしよう 2 年                  実践 9 登場人物に注目して内容や表現のおもしろさをつかもう 1 年                  実践 10 情景描写に注意して読む 3 年                  実践 11 根拠を明らかにしながら読み解こう 2 年                  実践 12 読み取りナビ・表現ナビにまとめてみよう 1 年                  実践 13 きらり輝く話材をさがそう！ 1 年                  実践 14 説得力のある根拠をもとに主張しよう 1 年                  実践 15 新聞の特徴を生かして書こう 3 年                  実践 16 根拠を推敲する 3 年                  実践 17 付箋を使って文章構成を工夫しよう 3 年</p> <p>成果の活用：                  ①三附属共同研究発表会（平成 23 年 1 月 16 日附属小倉中学校、1 月 22 日附属久留米中学校、1 月 25 日附属福岡中学校）でショート单元の授業公開する。                  ②各地区の国語教育研究会等で配布し、公立中学校に向けて広く啓発活動を行う。また、教育委員会等にも配布する。                  ③大学の授業テキストとしても活用し、学生の実践的見識を高めることに生かす。</p>		

外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法について

外部資金獲得 申請（予定）		研究成果の 公表方法（予定）	福岡教育大学 3 附属中学校 共同研究発表会(平成 23 年 11 月 16 日附属小倉中学 校、平成 23 年 11 月 22 日 附属久留米中学校、平成 23 年 11 月 25 日附属福岡中学 校)
------------------	--	-------------------	--